



かわべ

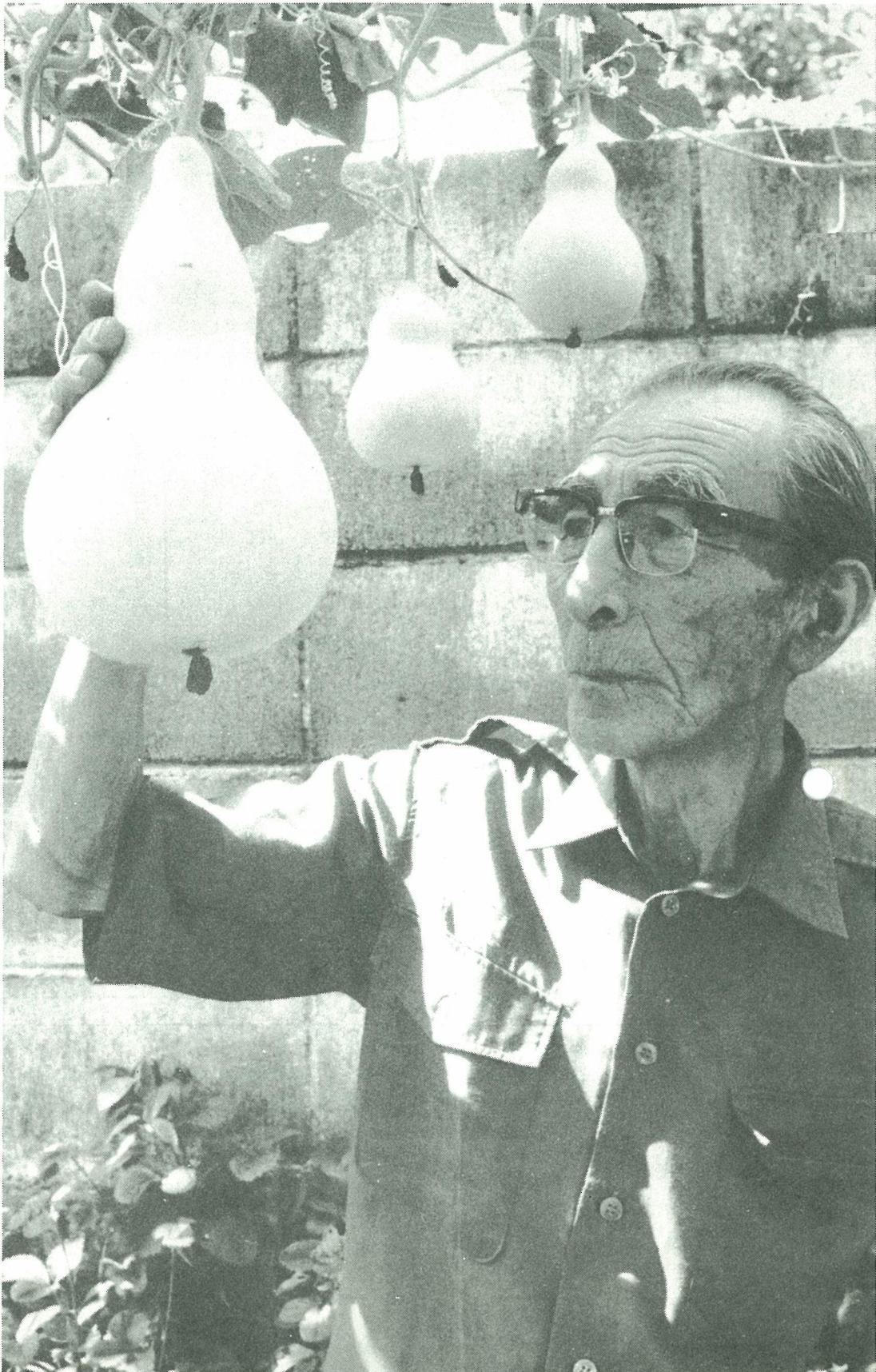
石井務さん

ヒヨウタン 細工の老後

ヒヨウタンは緑起物として喜ばれる。石井務さん(76)=下飯田=は、49年春からヒヨウタン作りを始め、喜寿や米寿のお年寄りに贈って喜ばれている。自宅の居間にも花立てやノレンに姿を変えたヒヨウタンがズラリと並んでいる。

おもな内容

- はりきるお年寄り ②~③
- シリーズ・可茂はひとつ ④~⑦
- はなしのひろば ⑧~⑨
- 保健だより ⑩
- おしらせ/おめでた・おくやみ ⑪
- 町史編さん室だより ⑫



生きがい見つけた

お年寄りの若返りの妙薬

ゲートボールなどの充実した活動に生きがいを見つめた福寿会のお年寄りたち（西小学校で）



お年寄りたちはいま、充実した毎日を送っています。激しく移り変わる現代社会の中で、置き去りにされがちだつたお年寄りたちが、このごろは若者顔負けのはりきりよう。“若返り”的原動力になつていてる福寿会（老人クラブ）と福寿大学の活動に焦点を当ててみました。

ゲートボール で健康を保つ

町には現在、連合福寿会（平岡喜八会長）の下に十九の福寿会があり、活発に行動しています。会員数は千三百八十人で、加入資格がある六十歳以上のお年寄りの約八割が参加しています。

連合福寿会では毎年、寝たきりのお年寄りの“友愛訪問”を実施し、力づけています。また各地区ごとの福寿会では、定期的に神社やお寺の清掃、懇親会などをしているほか、ほうきやぞうきんを作つて学校などへ寄付する奉仕活動を進めていると

ころもあります。

近ごろ、福寿会のお年寄りの間でブームを呼んでいるのが、ゲートボールです。高齢者に最も適した軽スポーツとして、昨

年町が積極的に普及を図ったところ、あつという間に町内全域に広まり、いまではお年寄りになりました。

福寿会員らは、早朝五時ごろ

からステイツクを手に、小学校

のグラウンドや空き地などに集まり、毎日のように練習に励んでいます。去る七月三十一日に

【中川辺】渡辺喜市（91歳）、桜井平市、矢嶋き志、細田峯代（90歳）、紅谷歌壽恵（89歳）、小塚繁七（88歳）、平岩ほかよ（87歳）、垣下純一郎、伊藤正蔵、栗山増市、遠藤ふじ、桜井すて、渡辺いつ（86歳）、垣下ます、福井よ志ゑ（85歳）

十五歳以上のお年寄りが七十七人います（九月十日現在）。最高齢は下吉田の長谷川りやうさんで九十七歳。八十五歳以上のお年寄りは次のみなさん。（敬称略）

【上川辺】佐伯志ゆん（91歳）、清水林作（89歳）、武市なつ、江口とも、則武小きく（88歳）、白村徳太郎、辻祐治（87歳）、清水かつへ（86歳）、古川富枝（85歳）

【石神】松野甚右衛門（90歳）、平岡かぎ（89歳）、平岡かぎ、松野とよ、平岡いせ、後藤かぎ（87歳）、平岡りやう（86歳）、松野志よう、加藤てい（85歳）

長谷川さんを
最高齢に77人

85歳以上のお年寄り



福寿大で知識修得

福寿会とともに、お年寄りの生きがいの一つになっているのが福寿大学（山田光雄委員長）です。

福寿会が誕生したのは四十九年九月。お年寄りに学習の場を

与え、生きがいある老後を送つてもらうことをねらいに始まりました。当初は「明治学級」という名前で四十七人でスタート。その後見る間に「学生」は増えています。

同大学が誕生したのは四十九年九月。お年寄りに学習の場を

主的に決めています。講座の内容は、各地区から選ばれた十六人の運営委員が年間計画を立てて、自

己開いています。講座の内容は、これまでに、後藤時男・坂祝小学校長や美濃加茂市の佐野エンネーさんを招いて講演会を開きました。また十月には研修旅行に出かける計画を立てており、同大

も、いまでは月一、二回定期的

に開いています。講座の内容は、百人のうち九人が六十五歳以上のお年寄り――。このほど総

も、いまでは月一、二回定期的

に開いています。講座の内容は、百人のうち九人が六十五歳以上のお年寄り――。このほど総

高齢者問題は 社会的な課題

「こうのとり」はこのほど、八百津町の特別養護老人ホーム「敬和園」を訪れ、入園しているお年寄りの世話をしました。写真。

十五歳以上のお年寄り五十人が入園、町からも一人が入っています。

この日は「こうのとり」のメンバー十四人が同園を訪問。白木清園長らから、施設の概要、

親身に老人の世話

町ボランティアが施設訪問

毎日の仕事の内容などを聞いたあと、全員が白衣を着けて作業にかかりました。

三、四班に分かれて、職員の指導を受けながらお年寄りの入

浴介助、ベッド掃除、ガラスふきなどをを行い、お年寄りや同園職員らに喜ばれました。

この日は「こうのとり」は今後、こうしたことにしていきます。

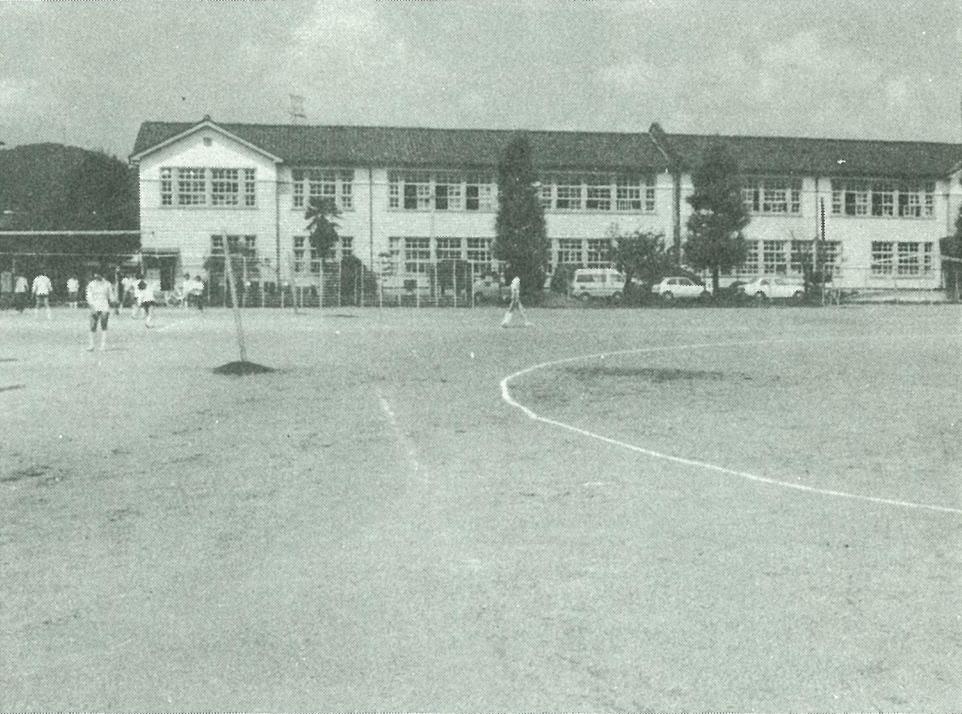
【西橋井】大谷かね（94歳）	田原かまよ、道家すゑ（89歳）	高木ことみ（88歳）
【下川辺】渡辺禮一（87歳）	木下八重、座間せん（86歳）	古沢つせ（85歳）
【鹿塙】横田かぎ（90歳）	有本篠女（85歳）	高橋藤一（87歳）
【下飯田】大脇すずゑ（85歳）	木沢乃志経（85歳）	木下八重、座間せん（86歳）
【福島】土屋禮一（93歳）	山田靖三（86歳）	田原きみ子（86歳）
【比久見】高井こう、加藤五一、佐伯すゞゑ（87歳）	小森アヤ（85歳）	山田あきの（87歳）
【下吉田】長谷川りやう（97歳）	佐伯すま（89歳）	田原きみ子（86歳）
【佐伯】馬場泰一（90歳）	馬場しゆん、馬場昇（86歳）	高木ことみ（88歳）
【佐原】前島修、佐原まつ江、佐伯とめの、山口金市（86歳）	馬場しゆん、馬場昇（86歳）	古沢つせ（85歳）
【西村】長沼はる（90歳）	前島修、佐原まつ江、佐伯とめの、山口金市（86歳）	田原きみ子（86歳）
【佐原】渡辺正雄、佐伯きみ、佐伯こう、前島まさ、井戸ミエ（85歳）	馬場しゆん、馬場昇（86歳）	高木ことみ（88歳）

第4章・心豊かな町へ

可茂はひとつ

教育は、限られた年代の人たちだけのものではありません。社会教育あるいは生涯教育ということばのとおり、幼児からお年寄りまで、すべての人々に必要なことなのです。今月は「心豊かな町へ」と題して、教育にスポットを当てました。

新広域市町村圏計画④



学校では小学校の整備に力を入れてきました。残るは川辺中学校です

知育に偏った傾向

個性や能力生かした教育を

小中学校教育は、子供たちが社会に出るに当たって必要な基本的教養を与え、豊かな個性を伸ばす役割を担っています。しかし最近の社会は学歴が幅をきかせ、小中学校教育もこれに影響されて知育に偏った傾向が見られます。このため児童・生徒の知育・德育・体育の不均衡、精神的貧困、自己抑制力の不足——といった問題が生じ、非行の一つの要因ともなっています。

こうした中で、本年度から新しい学習指導要領による教育課程が実施されています。加茂・可児地区でもその方針に従って、ゆとりある充実した教育課程により、児童・生徒の個性や能力をじゅうぶん生かした教育を進めなければなりません。そのためには、教職員のよりいっそうの資質向上が必要です。

わたしたちの町には、小学校が三校、中学校が一校あります。七月一日現在の小学校児童数は千八

人です。この数字は可茂地区十一市町村の平均児童・生徒数を下回っています。ここ数年、圏域南部と北部で学校規模格差が広がる傾向にあり、規模適正化が強く要請されています。

学校規模を適正化

可茂地域新広域市町村圏計画では、教育効果をより高めるために、小中学校教育について次のような計画を立てています。

①教職員の資質向上のため、充実した研究・研修機会を提供するなど、研修体制の強化に努める。そして学校教育・家庭教育・社会教育が互いに補い合うように努める。

②国や県の学級編成方針を考え、児童・生徒数の急増地域では学校分離を、減少地域ではできるだけ統廃合を進め、学校規模の適正化を図る。

③教育水準を向上させるため、屋内運動場・プール、教育機器、教材などを整備・充実し、一部の危険校舎や老朽校舎の解消に努めます。

●本町分（以下同じ）

20・0%
▽満足 31・8% ▽不満

○小中学校の整備状況
(%)

〈小中学校教育に関するもの〉

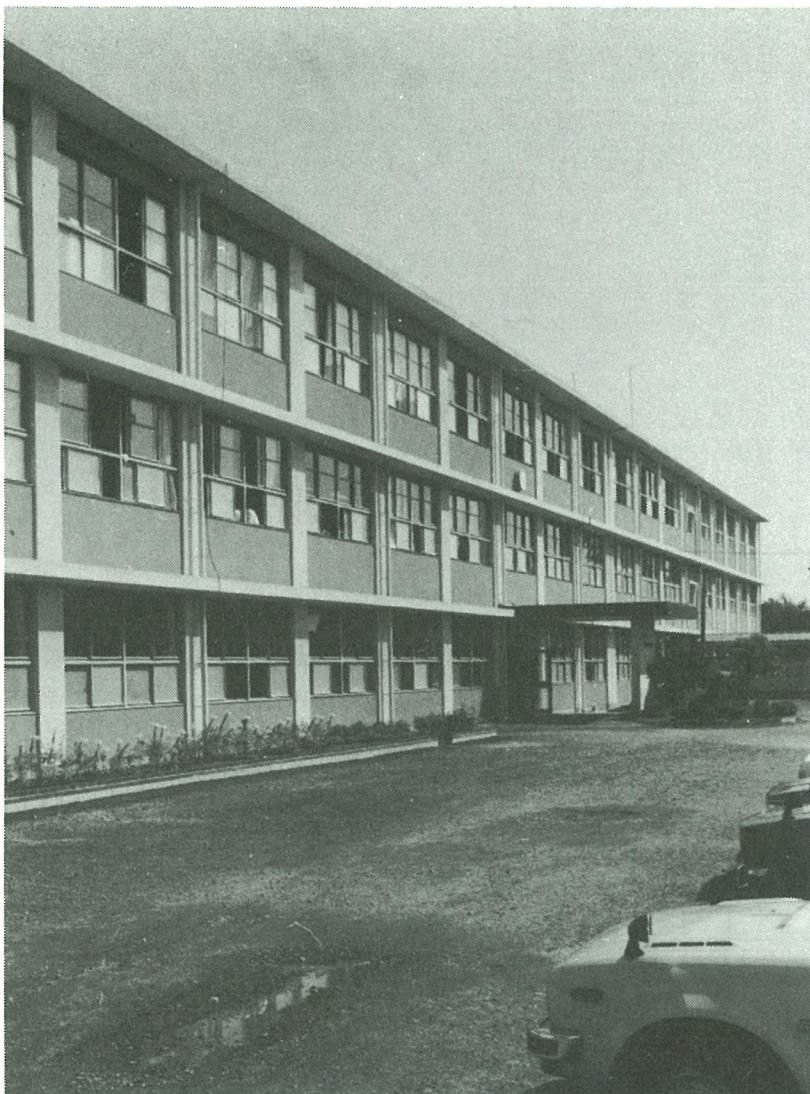
人、中学校の生徒数は四百四十一人です。この数字は可茂地区十一市町村の平均児童・生徒数を下回っています。ここ数年、圏域南部と北部で学校規模格差が広がる傾向にあり、規模適正化が強く要請されています。

可茂地区の南部と北部では高校進学者数の差が広がりつつあります

(美濃加茂市の中学校で)

高校進学9割超す

その多くが圏域南部に集中



高校教育は、小中学校で修得した基礎教育の上に立って、一人一人の能力や個性に応じた教育を行なわなければなりません。さらにホーム・ルーム、生徒会活動などの課外活動を通じて、社会性を養うよう努めることもたいせつです。

加茂・可児地区には高校が、美濃加茂市に三校（内私立一校）あ

るほか、御嵩町と可児町にそれぞれ二校、八百津町と白川町に一校ずつ、計九校あります。

昨年の同地区十一市町村の中

校卒業者は二千六百九十八人。このうち定時制を含めた進学者は二千五百十二人で、進学率は九三・一%。県平均の九四・六%をやや下回っています。進学者のほとんど（九七・一%）が全日制高校へ通っており、その数は二千四百人余り。可茂圏域内の高校へ八割が集中し、以下▽恵那・多治見方面

百七十五人（七・一%）▽岐阜・大垣方面百三十人（五・三%）▽関方面百十二人（四・六%）――と続いています。

わたしたちの町で昨年、中学校を卒業した生徒は百六十人です。

このうち進学者は、定時制を含めて百五十三人。進学率は九五・〇%

で可児町と並び、美濃加茂市に次ぐ高率です。県平均、可茂地区

平均をいすれも上回っています。その他一人――となっています。

高校へ進まなかつた中卒者の進路は▽就職四人▽各種学校三人▽

そこまで一度、圏域全体に目

を転じて、高校の現状と課題を追つてみましょう。

可児町など圏域南部の人口急増

高校新設働きかけ

この現状を踏まえ、市町村圏計画では、次のような計画を打ち出しました。

①高校進学者の急増に対して、高校の新設を積極的に関係機関に働きかける。また既設高校の定員増を考えた増設と施設や設備の充実を進める。

②生徒の進路希望をつかみ、魅力ある職業課程の新設を進める。

圏域アンケートでは

（高校教育に関するもの）

■高校の整備状況

▽満足 7・6% ▽不満

「触れ合いの場」を

町には中央公民館を建設



完成した中央公民館。社会教育・文化活動の一大拠点に（中川辺で）

一般に社会教育施設といえば、代表的なものとして公民館があります。可茂地区でも、おおむね小学校区単位に配置された公民館が、社会教育の拠点施設としての役割を果たし、社会教育学習、芸術・文化活動あるいは触れ合いの場として幅広く利用されています。

しかし、わたしたちの町の施設

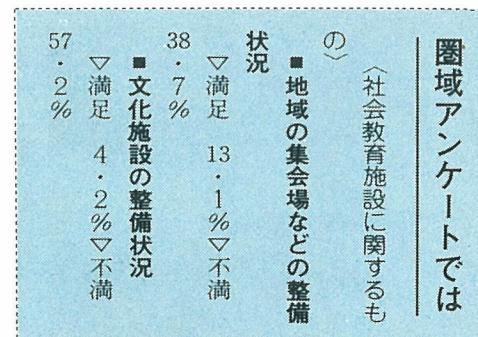
の現状を考えると、必ずしも効果的な使われ方がされているとはいえない。現在町内で、ある程度の規模を有する施設としては、下

これららの地区施設が造られた当時は、いまのように“社会教育”あるいは“コミュニティ”といふことはいわれませんでした。そのため、この程度の規模で用が足りたという事情もあります。ところが現代のように「触れ合い」の必要性がことごとく呼ばれる世の中では、やはり総合的な社会

教育機能を持つた大規模な施設が欠かせません。こうした時の流れに対する町の考えを具体化したものが、中川辺に建設された中央公民館です。天龍工業南の飛驒川を臨む場所に建てられる同公民館は、鉄筋コンクリート（一部鉄骨）三階建てで延べ面積は二千六百四十四平方メートル。工事費のほか備品などを含めると約七億円に上る大事業です。

町だけでなく加茂郡全体における行政・文化の中心的役割を果たすものを、との考え方から、施設面でも張り込みました。六百人収容の大ホールのほか研修室、調理室、視聴覚室などを備え、町民の集いの場にふさわしいものと自負しています。これだけの施設を持つ町は郡下ではほかにありません。

完成は当初の予定よりいくぶん早まり、現在、内外装ともできあがめだらります。内外装ともできあがめだらります。



文化施設を整備へ

計画では――。

①高度専門化してきている学習、活動内容にこたえることができる設備を備えた公民館の整備・充実を図る。

②若者のための宿泊研修施設の整備・充実を積極的に進める。

③あらゆる文化行事にこたえることができる機能を備えた文化施設の整備を進める。

教育機能を持つた大規模な施設が欠かせません。こうした時の流れに対する町の考えを具体化したものが、中川辺に建設された中央公民館です。天龍工業南の飛驒川を臨む場所に建てられる同公民館は、鉄筋コンクリート（一部鉄骨）三階建てで延べ面積は二千六百四十四平方メートル。工事費のほか備品などを含めると約七億円に上る大事業です。

町だけでなく加茂郡全体における行政・文化の中心的役割を果たすものを、との考え方から、施設面でも張り込みました。六百人収容の大ホールのほか研修室、調理室、視聴覚室などを備え、町民の集いの場にふさわしいものと自負しています。これだけの施設を持つ町は郡下ではほかにありません。

完成は当初の予定よりいくぶん早まり、現在、内外装ともできあがめだらります。

このようにわたしたちの町では、社会教育や文化活動を進めるための下地ができるつあります。

広く可茂地区全体をなめた場合、どうでしょう。公民館は地域の三十六か所に設けられています。しかし、これだけでは量的には少なくて、設備の面でも乏しいところが多いのが現状です。早急に対策を立てなければなりません。

また青少年の健全育成のため、若者のための施設を整備・充実させることも必要です。美術展や講演会、発表会などが開ける大規模な文化施設も少なく、今後、社会教育の盛り上がりに合わせて、検討しなければならない課題です。

不足する運動施設

スポーツ志向に対応できず

近年、スポーツに関しては、観ています。

戦から参加へと住民の意識が変化しています。町内でも各種スポーツ大会が数多く開かれ、たくさんの方々が積極的に参加し、楽しんでいます。

しかし施設は、特定のスポーツを除いて、非常に乏しいのが現状です。ほとんどが小中学校のグラウンドや体育館を使っており、多

可茂園域全体でも事情は同じです。今後、量的整備はもちろん、専用施設や付属施設の整備・充実極化するボーリング志向に対応できる態勢は整っています。

しかし転入者へのできるだけの
など身近なレクリエーション施設
はふじゅうぶんです。これからは
生活の一部として気軽にレクリエー
ーション活動ができる施設の整備
を進めなければなりません。

指導者の資質向上

こうした圏域全体の実情を踏まえて、次のような計画を立てました。

高まる一方のスポーツ熱。これにこたえる施設整備が急がれます（川辺中で）

(1) 体育館 武道場 野球場 テニスコート、プールなどを備えた総合運動施設の整備を、公園整備などと併せて進める。
(2) スポーツ施設を有効に利用して全暇を過ごせるようにするため夜間照明施設の充実と学校体育施設の一般開放を進める。
③ 体育指導員などスポーツ指導者の資質向上のため、研究・研修機会を提供する。

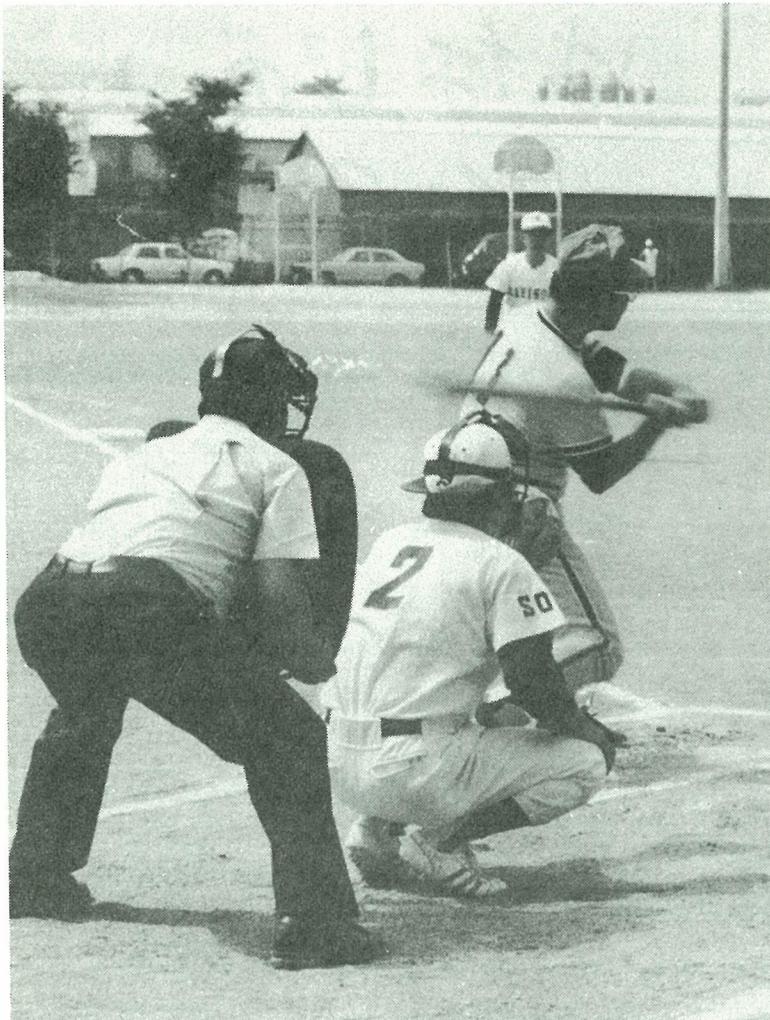
■ 圈域アンケートでは

■整備が必要な施設

■スポーツ活動へ参加する

◎ 滿足 11 · 0 % ◎ 不滿

可茂はひとつ — 新広域市町村圏計画④



(3) 体育指導員などスポーツ指導者の資質向上のため、研究・研修機会を提供する。

(4) 多様化するスポーツ志向をじ

といった質的整備を図り、効率的利用を検討する必要があります。広い意味でのスポーツの中には

ゆうぶんには握し、住民の要望に沿った各種スポーツ活動の機会を提供する。

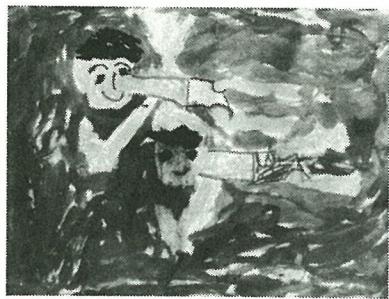
といった質的整備を図り、効率的利用を検討する必要があります。広い意味でのスポーツの中には、レクリエーション活動も含まれます。町では町民運動会など、家族ぐるみで楽しめる行事も開いています。

(5) 軽スボーツや野外活動ができる身近なレクリエーション広場などを整備する。また自然や文化遺産を生かした散策路、サイクリング

ゆうぶんには握し、住民の要望に沿った各種スポーツ活動の機会を提供する。

祭りばやし任せて

福島・下飯田の若手が特訓



いしいだいすけ(6歳)=上川辺
(第二保育園)

はなしのひろば

みなさんの参加をお待ちしています。連絡は
役場企画室広報係(電2511=代表)へ。



福島公民館で八月二日から十日間、同地区と下飯田の若者たちが祭りばやしの特訓を行いました。「郷土芸能夏季講座」と名付けられた練習会は、両地区の夏の行事としてすっかり定着、区民そろつて後押ししています。

市下米田町にある諏訪神社の氏子。

ことし八月二日から十一日まで

開かれた講座には、小学六年生から高校生まで約十五人が毎晩参加。夜七時半から九時過ぎまで、山

田浜夫さん(四

九)・福島・ら

の指導で「小

雀(すずめ)

ばやし」「若松

ばやし」など五曲の練習に打ち込みました。

最終日の十

一日に行われた総合練習では息もピッタリ。祭りの主役になる日も近です。

同神社では毎年四月六、七日に例祭が行われ、地区民は笛、太鼓の人だけになってしましました。

そこで「祭りばやしを若手に引

き継ぎ」と、さる四十九年夏か

ら講座が開設され、毎年夏休み期

間に古老が後継者に笛、太鼓を

仕込んできました。

ことし八月二日から十一日まで

開かれた講座には、小学六年生から高校生まで約十五人が毎晩参加。夜七時半から九時過ぎまで、山

田浜夫さん(四

九)・福島・ら

の指導で「小

雀(すずめ)

ばやし」「若松

ばやし」など五曲の練習に打ち込みました。

最終日の十

一日に行われた総合練習では息もピッタリ。祭りの主

役になる日も近です。

祭りばやしを練習する子供たち。毎晩

の特訓で実力も向上

(福島公民館で)

金魚を返して! 川辺中の池

で飼っていた金魚が、夏休み

中に一匹もいなくなり、生徒た

ちを悲しませています。学校で

は「だれかのいたずらだと思

が、生徒たちのために、ぜひ返

してほしい」と訴えています。

同中では「観察用に」と、去

る6月に、コメット種の金魚約

三十匹を購入、中舍理科室前

ある長方形のコンクリート池に

放し、園芸クラブの生徒がいつ

しようけんめい世話をしてくれました。

ところが8月29日夜、先生が

見回りに行つたところ、金魚は

一匹残らず消えていました。周

りをコンクリートで固め、網の

フタがかけてあつたところから

考えても、ネコやイタチの仕業

ではなさそう。

丹精込めて育ってきた金魚だけに、生徒たちはガックリ。落

胆ぶりを見兼ねた先生たちは「一

日も早く返して」と呼びかけて

います。

運動会 9月22日に川辺中校

庭で開きます。生徒会を中心

企画を練り、趣向をこらした樂

ス=田原ひとみ

茂支部予選 8月27日から30日

まで、下川辺グラウンドなどで

開かれ、川辺中野球部が優勝し

ました。

同中野球部優勝までの成績は

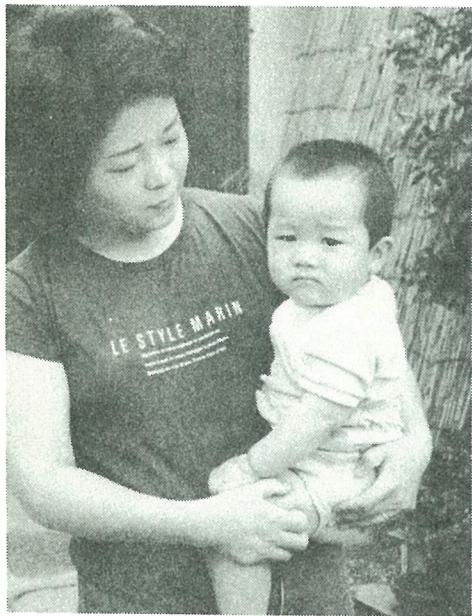
次のとおり。

△決勝	
川辺中	0 0 3 0 5 1 0 9
神淵中	1 0 0 0 0 0 1 0 2
中▽二回戦	川辺中 7 - 0 白川
中▽準決勝	川辺中 2 - 1 東白
川中	

△優勝	
△バドミントン個人	
ダブルス	△後藤洋子・平岡美千代
【二位】	△バスケットボール女子
△バドミントン	△卓球女子個人
【三位】	△小川雅子
△バスケットボール男子	△肥田浩子・辻典子
△軟式庭球男子	△同女子
△バドミントン個人ダブルス	△同女子
△バドミントン個人ダブルス	△同女子
△バドミントン個人ダブルス	△同女子

丹精込めて育ってきた金魚だけに、生徒たちはガックリ。落胆ぶりを見兼ねた先生たちは「一日も早く返して」と呼びかけています。

運動会 9月22日に川辺中校庭で開きます。生徒会を中心企画を練り、趣向をこらした樂ス=田原ひとみ



高井伸幸ちゃん(1歳)=比久見
(治さん・都志子さん長男)

*

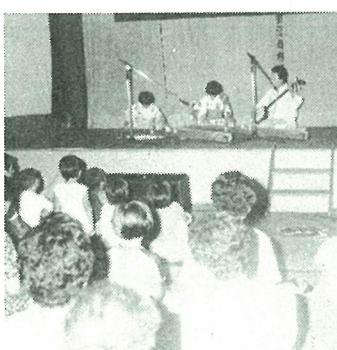
まちかど

成績は次のとおり。
①上川辺②下麻生下③下川辺B、
比久見A

ふれあい広場 下麻生地区の人たちが8月8日夜、同地区公民館でふれあい広場^{II}写真を開き、数々の催しを楽しみました。



第1回町連合福寿会ゲートボーリ大会 7月31日に西小学校庭で十二チームが参加して開かれ、福島福寿会^{II}写真^{II}が優勝しました。



【作り方】 ①米は洗って十分間水につけて、ざるに上げておきます。②鶏肉は小口切りにしておきます。③むきエビは、さつと水洗いしてざるに上げ、水切りしておきます。④なべにサラダ油を熱し、鶏肉、エビ、マッシュルーム、ミックスベジタブルをいため、次にバターを加えて①の米をいため、マッシュルームを加えます。塩、コショウで味を調整、炊飯器に移して炊き上げます。⑤ライスざらに盛り付けして、上からゆで卵の裏ごしを飾り、パセリを添えます。

水神祭り 下麻生の水神祭りが8月15日夜、同地区の飛驒川で行われました。当日朝から、祭りの主役となる船の上にヤグラを組み立て、本番に備えました。

祭りは夕方から開始。約八十個のちょうちんを付けた船が飛驒川を往復し、船上では地区民が笛や太鼓で祭りを引き立てました。水面にちょうちんの明かりが映え、岸や飛驒川橋上に集まつた見物人はウットリと見入っていました。

ピラフとは洋風の焼き込みごはんのことです。昼食にでもチヤーハン代わりにいかがでしょうか。一度お試しください。

今月の料理



比久見

現金十万円を寄付 比久見の長瀬晃さん(五四)からこのほど、東小へ現金十万円の寄付がありました。長瀬さんの父、形郎さんの葬儀の香典の一部。同小では備品購入費用に充てます。

総合

社会福祉に現金寄付 町商工青年部(加藤忍部長)はこのほど、町社会福祉協議会へ現金九万六百二十円を寄付しました。先ごろ同青年部が開いた川辺おどりの「ふれあい広場」での売り上げ金。

第23回自治会対抗野球大会 8月16日と30日に山楠グラウンドなど四会場で開かれ、上川辺^{II}写真十六^{II}。会員の作品六百七十七首が収められています。

下麻生

*

短歌会が歌集発行

町短歌会(代

表・遠藤豊さん、会員二十四人)はこのほど、同会の勉強会が百回に達したのを記念して、歌集『白露』特集号を発行しました。

勉強会が百回を迎えたのは、こどし2月。これを記念して特集号を出そと話し合われ、編集作業にかかりました。

特集号はA5判変型、本文百四十六^{II}。会員の作品六百七十七首が収められています。

第1回町連合福寿会ゲートボーリ大会 7月31日に西小学校庭で十二チームが参加して開かれ、福島福寿会^{II}写真^{II}が優勝しました。

二、三位は次のとおり。

②中川辺第一③中川辺第四、上

第23回自治会対抗野球大会 8月16日と30日に山楠グラウンドなど四会場で開かれ、上川辺^{II}写真十六^{II}。会員の作品六百七十七首が収められています。

②中川辺第一③中川辺第四、上



【作り方】 ①米は洗って十分間水につけて、ざるに上げておきます。②鶏肉は小口切りにしておきます。③むきエビは、さつと水洗いしてざるに上げ、水切りしておきます。④なべにサラダ油を熱し、鶏肉、エビ、マッシュルーム、ミックスベジタブルをいため、次にバターを加えて①の米をいため、マッシュルームを加えます。塩、コショウで味を調整、炊飯器に移して炊き上げます。⑤ライスざらに盛り付けして、上からゆで卵の裏ごしを飾り、パセリを添えます。

入りピラフ

チキン・エビ

【材料】(四人分) 米二二五粒、ツブ、鶏肉五十グラム、ゆで卵一個、むきエビ五十グラム、パセリ少々、マッシュルーム五個、ミックスベジタブル百五十グラム、サラダ油大さじ一杯半、バター大さじ二杯、スープ(湯二カップ)四分の一、固型スープの素一個、塩小さじ一杯、コショウ少々

水洗いしてざるに上げ、水切りしておきます。②鶏肉は小口切りにしておきます。③むきエビは、さつと水洗いしてざるに上げ、水切りしておきます。④なべにサラダ油を熱し、鶏肉、エビ、マッシュルーム、ミックスベジタブルをいため、次にバターを加えて①の米をいため、マッシュルームを加えます。塩、コショウで味を調整、炊飯器に移して炊き上げます。⑤ライスざらに盛り付けして、上からゆで卵の裏ごしを飾り、パセリを添えます。

保健だより

きょうもお元気で

8割余が異常なし

子宮ガン検診受診率わずか11%

このほど町内四会場で子宮ガン検診を行いました。対象者は町内の三十歳以上の女性三千九十五人。昨年より九十三人多い三百四十二人が受診しました。しかし受診率は対象者総数の一・一%にすぎ

ず、もっとも多くの人に受けたいだときたいと思います。

結果は▽異常なし＝二百八十九人（八四・五%）▽六ヶ月後に再検査が必要＝三十四人（九・九%）

△カンジダ真菌症、トリコモナス

原虫症のため要治療＝十九人（五・六%）――でした。幸いなことに、ことしも精密検査の必要な人は一人もいませんでした。

年齢別受診率は、四十代が最も高く三七・七%。以下、三十代、五十年代、六十代の順です。六十代の受診は九人で、その約七割に当たる六人が要観察あるいはカンジダ真菌症、トリコモナス原虫症のため要治療でした。このようなことから「六十歳を過ぎたから、もういいわ」と言わずに、ぜひ検診を受けるよう心がけてください。

地区別受診率は西柄井が最も高く一四・二%。逆に昨年最高だった石神が、ことしは七・〇%と最も低くなっています。

今回は、県下各地区の検診が集中したことと、受診者数の増加で検査に手間がかかったため、みなさまのお手元へ結果を届けるのが遅れることをおわびします。

9月28、29日
に胃ガン検診

九月は「ガン征圧月間」です。

町では胃ガン検診を九月二十八、二十九の両日、下麻生グラウンドと中川辺の給食センター前で行います。ぜひ検診を受けて、毎日を安心して過ごすようにしましょう。

こういう子供たちは交通事故に遭つたり、非行に走ることが多い、という人もいるようですが、一般的にいって、身の回りのことは自分でできる、留守番もきちんとする、弟や妹の面倒見もいいといった、頼もしい子供のほうが多いようです。

ただ表面的にはしつかりした子供でも、内部には不安や不満がよどんでいることがあります。ですから「うちの子は頼りにならぬ」と放任しておくるのです。



子供との心の触れ合いを

母親が仕事を持つているということでは、共働きの家庭や父親のいない家庭に限らず、農業や商業を営む家庭などの場合も同様で、特別なことではないといえるでしょう。ですから、こ

とさら改まって「対話の時間」などと神経質になるよりも、いつしょにテレビを見るとか、朝食だけは家族そろつてどる、顔が合わせられないときはノートで連絡を取り合うなど自然な形で子供との共通の場を持つことを心がけた

町史編さん室だより



— その70 —

九）ころまでの村の名前で、現在の中川辺地区である。最も古い記録としては、慶長五年（一六〇〇）の旗本大嶋氏知行目録にその名があるが、それには「川辺中之番村」と記載されている。

地名の由来は、往古の呼び名である「川辺庄」の中心地に位置していたため、その名が起こつたもので、江戸時代の領主は旗本大嶋氏、初代は二男光政である。いわゆる川辺大嶋氏と呼ばれた領主であった。

ており、川辺、柄井両村を中心
に、江戸屋敷、肥田瀬村（関市）
加治田村（富加町）攝津三ヶ村
（大阪）などの統治を行つてい
た。いわば財政面での総括が、
この中之番村で行われていたの
である。

○：暑が一た夏も経れりを告げ、いよいよ秋の訪れです。
○：「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」と、秋にはいろいろな形容詞があります。それだけこの季節は、私たちにとつて過ごしやすい時期ということかもしません。

あとがき



くらしの豆知識

地名の変遷と由来
(13)

【中之番村①】江戸時代初期
(一六〇三)から文化六年(一八〇

台風のあとは
電線に注意を

台風のあと、切れた電線や垂れさがっている電線には絶対に触れないようじゅうぶん注意し、お近くの中部電力へご連絡ください。とくに田んぼの見回りなどで水の中へ入るときは、その中に電線が切れて落ちてないか、水面の近くまで電線が垂れさがってないかを、よく確かめてください。

■わたしたちの作品

新築の初風呂たかんと先勝の
日を選び待つ夫の帰るを
農兵節歌ひつ過ぎゆく三島宿
富士は変らず喧騒の街
遠藤 肥田 節子
豊

醉へばまた軍艦マーチ唄ひだす 老海兵に青春ありき	朝光の満ちる田の面の幼な苗 うすき緑の風を運べり	肥田 千里
早苗田の共同防除に撒くくすり 黄砂のごとく陽は翳り翳りみゆ	牧田 玉枝	佐合 繁子
ステレオのボリューム低く流暢に 古賀メロディの吾を忘るる	神田 繁子	佐合 耕一
蔥かげの朝露に濡れ白く咲く どくだみの花いとおしと見ゆ	栗山 米子	栗山 米子
今年また花の盛りのどくだみを		

中学生の川柳

自家製のたくわんいつもからくなる 落書きを見ると漢字が違つてゐる	谷川 裕一
ベルがなり教室リングに早がわり ガムかんで犬にやつたら砂かぶせ	奥村 いづみ
男の子女子のカバンを持つ役目	加藤 優子
父さんに箸の持ち方注意され 母さんの味方をすれば父おこり	熊田由美子
平岡 綾子	佐伯 志濃
水野 香代	

人口の動き

総人口 10,426人 (+26)
 男 5,150人 (+19)
 女 5,276人 (+7)
 世帯数 2,621戸 (-1)
 転 入 23人 (+10)
 転 出 12人 (+1)

=8月末住民登録人口より=